

9月
September

使っている花

■ マム (エファオレンジ、エファピンク)、カワラナデシコ (ミーティアピンク)、ケイトウ (メロンフリル)、タカノハススキ



マム

花言葉 高貴／あなたを愛します

月が美しい季節
中秋の名月はマムを楽しんで

プロが伝授！花を長く楽しむアドバイス

- バクテリアに強く水だけで美しく咲きますが、切り花栄養剤を使用することで、色鮮やかに大きく咲き、いっそう長く楽しめます。
- 暑い時期は3日に一度くらいの頻度で水替えし、茎を切り戻しましょう。その際も切り花栄養剤を使用するのが理想です。

お家で簡単！3ステップアレンジ

- ①それぞれの花の水に浸かる部分の葉を取り除きます。マムは小さな葉も丁寧に取り除きましょう。
- ②ケイトウを器の高さと同じくらいにカットし、器の口元にいけます。そしてケイトウよりやや長めにカットしたマムを中央にあしらいます。数本まとめると存在感が出ます。
- ③タカノハススキは葉の流れを生かして涼しげにいけ、最後にカワラナデシコを軽やかにあしらいます。

ジャパンビューティーを愛する秋

キクの別称「マム」は、学名Chrysanthemumの略で「黄金の花」の意。日本は世界一の生産量と消費量を誇ります。最大の魅力は豊富なバラエティと抜群の花持ちの良さ。お月見にぴったりなボンボン咲きや、ダリアと見紛う華やかなデコラ咲きが人気。9月9日は「重陽の節句」、菊を愛で、菊酒や菊の香りで不老長寿を願いました。



WEEKEND
FLOWER

マム

花言葉 高貴／あなたを愛します

月が美しい季節
中秋の名月はマムを楽しんで

プロが伝授！花を長く楽しむアドバイス

- バクテリアに強く水だけで美しく咲きますが、切り花栄養剤を使用することで、色鮮やかに大きく咲き、いっそう長く楽しめます。
- 暑い時期は3日に一度くらいの頻度で水替えし、茎を切り戻しましょう。その際も切り花栄養剤を使用するのが理想です。

お家で簡単！3ステップアレンジ

- ①それぞれの花の水に浸かる部分の葉を取り除きます。マムは小さな葉も丁寧に取り除きましょう。
- ②ケイトウを器の高さと同じくらいにカットし、器の口元にいけます。そしてケイトウよりやや長めにカットしたマムを中央にあしらいます。数本まとめると存在感が出ます。
- ③タカノハススキは葉の流れを生かして涼しげにいけ、最後にカワラナデシコを軽やかにあしらいます。

ジャパンビューティーを愛する秋

キクの別称「マム」は、学名Chrysanthemumの略で「黄金の花」の意。日本は世界一の生産量と消費量を誇ります。最大の魅力は豊富なバラエティと抜群の花持ちの良さ。お月見にぴったりなボンボン咲きや、ダリアと見紛う華やかなデコラ咲きが人気。9月9日は「重陽の節句」、菊を愛で、菊酒や菊の香りで不老長寿を願いました。



WEEKEND
FLOWER

使っている花

■ マム (エファオレンジ、エファピンク)、カワラナデシコ (ミーティアピンク)、ケイトウ (メロンフリル)、タカノハススキ



9月
September

9月
September

使っている花

■ マム (エファオレンジ、エファピンク)、カワラナデシコ (ミーティアピンク)、ケイトウ (メロンフリル)、タカノハススキ



マム

花言葉 高貴／あなたを愛します

月が美しい季節
中秋の名月はマムを楽しんで

プロが伝授！花を長く楽しむアドバイス

- バクテリアに強く水だけで美しく咲きますが、切り花栄養剤を使用することで、色鮮やかに大きく咲き、いっそう長く楽しめます。
- 暑い時期は3日に一度くらいの頻度で水替えし、茎を切り戻しましょう。その際も切り花栄養剤を使用するのが理想です。

お家で簡単！3ステップアレンジ

- ①それぞれの花の水に浸かる部分の葉を取り除きます。マムは小さな葉も丁寧に取り除きましょう。
- ②ケイトウを器の高さと同じくらいにカットし、器の口元にいけます。そしてケイトウよりやや長めにカットしたマムを中央にあしらいます。数本まとめると存在感が出ます。
- ③タカノハススキは葉の流れを生かして涼しげにいけ、最後にカワラナデシコを軽やかにあしらいます。

ジャパンビューティーを愛する秋

キクの別称「マム」は、学名Chrysanthemumの略で「黄金の花」の意。日本は世界一の生産量と消費量を誇ります。最大の魅力は豊富なバラエティと抜群の花持ちの良さ。お月見にぴったりなボンボン咲きや、ダリアと見紛う華やかなデコラ咲きが人気。9月9日は「重陽の節句」、菊を愛で、菊酒や菊の香りで不老長寿を願いました。



WEEKEND
FLOWER

マム

花言葉 高貴／あなたを愛します

月が美しい季節
中秋の名月はマムを楽しんで

プロが伝授！花を長く楽しむアドバイス

- バクテリアに強く水だけで美しく咲きますが、切り花栄養剤を使用することで、色鮮やかに大きく咲き、いっそう長く楽しめます。
- 暑い時期は3日に一度くらいの頻度で水替えし、茎を切り戻しましょう。その際も切り花栄養剤を使用するのが理想です。

お家で簡単！3ステップアレンジ

- ①それぞれの花の水に浸かる部分の葉を取り除きます。マムは小さな葉も丁寧に取り除きましょう。
- ②ケイトウを器の高さと同じくらいにカットし、器の口元にいけます。そしてケイトウよりやや長めにカットしたマムを中央にあしらいます。数本まとめると存在感が出ます。
- ③タカノハススキは葉の流れを生かして涼しげにいけ、最後にカワラナデシコを軽やかにあしらいます。

ジャパンビューティーを愛する秋

キクの別称「マム」は、学名Chrysanthemumの略で「黄金の花」の意。日本は世界一の生産量と消費量を誇ります。最大の魅力は豊富なバラエティと抜群の花持ちの良さ。お月見にぴったりなボンボン咲きや、ダリアと見紛う華やかなデコラ咲きが人気。9月9日は「重陽の節句」、菊を愛で、菊酒や菊の香りで不老長寿を願いました。



WEEKEND
FLOWER

使っている花

■ マム (エファオレンジ、エファピンク)、カワラナデシコ (ミーティアピンク)、ケイトウ (メロンフリル)、タカノハススキ



9月
September